## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number:

52-004756

(43)Date of publication of application: 14.01.1977

(51)Int.CI.

H03F 3/217

(21)Application number: 50-081121

(71)Applicant: SANSUI ELECTRIC CO

(22)Date of filing:

01.07.1975

(72)Inventor: SUGIURA NAOKATSU

#### (54) AMPLIFIER

### (57)Abstract:

PURPOSE: To allow signals in a wide band from direct current signals to several ten kHz to be amplified at a high efficiency by amplifying signals by means of a voltage/pulse width modulator.

#### LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

#### ① 特許出願公告

# ⑩ 特 許 公 報 (B2)

昭57-5087

60 Int.Cl.3 H 03 F 3/217 識別記号

庁内整理番号 7827 - 5 J

244公告 昭和57年(1982)1 月28日

発明の数 1

2

(全5頁)

I

64增幅器

②)特 願 昭50-81121

願 昭50(1975)7月1日 22)出

開 昭52-4756 公

43昭52(1977)1月14日

明 者 杉浦直勝 73発

> 東京都杉並区和泉2丁目14番1号 山水電気株式会社内

们出 願 人 山水電気株式会社

東京都杉並区和泉2丁目14番1号

個代 理 人 弁理士 鈴江武彦 外4名

#### の特許請求の範囲

その絶対値に応じた波形に変換する波形変換回路 と、この波形変換回路の出力を変調波としこの信 号に応じて時間成分が変化する正負交互のバルス 信号を出力するパルス変調回路と、出力側に絶縁 用いて前記直流電圧をスイツチングして前記絶縁 トランスに与え前記パルス変調回路の出力信号を 増幅した波形を出力するバルス増幅器と、このバ ルス増幅器の出力を全波整流し正負両極性の整流 判別して判別信号を出力する極性判別回路と、こ の判別信号に応じて前記整流器の正負極性出力の 一方を選択出力する出力スイッチング回路と、前 記整流器の出力側或いは出力スイッチング回路の タとを備えてなる増幅器。

#### 発明の詳細な説明

本発明は、オーデイオ信号等の増幅に用いる小 型、高効率の増幅器に関する。

を高周波で交互にスイッチングして絶縁トランス の1次側に与え、前記トランスの2次側に絶縁さ

れた任意の電圧を得る様にした、いわゆる直接整 流方式のインバータによる電源は小型、高効率で 知られている。との方式はいわゆるスイッチング レギュレータの一種であるので、スイツチングの 5 時間比を変える事により出力電圧を変化させる事 ができる。従つて、前記スイッチングの基準信号 の代りに、外部の低周波信号により変調した信号 を用いて前記低周波信号に応じたスイッチングを 行なう様にすれば、例えば、オーデイオ信号等の 10 低周波信号の電力増幅を従来通常に用いられてい た増幅器よりも高効率で且つ小型、軽重量で行な う事が可能であると考えられる。

そこで、この様な方式を利用した増幅器として、 例えば第1図に示す様なものが考えられる。即ち、 直流電圧を発生する直流電源と、入力信号を 15 図において低周波の入力信号Siを電圧ーパルス 幅変調器(以下「V-PW変調器」と称する)M で、その電圧に応じたパルス幅を有する例えば第 2図の様な周期T, の高周波のバルス信号 Pmに 変換する。このパルス信号Pmを用いて、トラン トランスを有し前記パルス変調回路の出力信号を 20 ジスタQ, ,Q。を交互にスイツチングして、商 用電源を整流した直流電源Eの出力をトランス TRの1次側に与え、トランスTRの2次側に前 記第2図のパルス波形の振幅が前記直流電源Eの 電圧に応じて増幅された形の波形を得る。この波 波形出力を得る整流器と、前記入力信号の極性を 25 形をローパスフイルタLPFによつて時間平均し てやれば、前記入力信号Siが増幅された波形を 得る事ができこれをスピーカSPに与えればよい。

しかしながら、この様にすると第2図の波形を 見てもわかる様に、髙周波でスイツチングしてい 出力側に挿入された信号平滑用のローバスフィル 30 るにもかかわらず、入力信号Si の周期 $T_2$  の低 周波成分が、そのまま含まれる事になり、例えば オーディオ信号を増幅する場合には20Hz程度 の超低波信号を取扱うため、前記トランスTRを この様な信号でも容易に磁気飽和点に達しない様 一般に、商用電源を直接整流し、この直流電圧 35 なトランスとするためには、トランス自体が大型 で重量の大きなものとなつてしまう。そのため、 むしろ、従来通常に用いられていた増幅器の電源

3

トランスよりも、大型で重量の大きなものとなつ てしまい、増幅器全体としても大型で重いものと なつてしまう場合が多い。

本発明はこの様な事情に基いてなされたもので、 直流信号から数10KHzに及ぶ広い周波数の信 5 スタ $Q_3$  ,  $Q_4$  を用いた出力スイッチング回路、 号を髙効率で増幅でき、しかも小型、軽重量の増 幅器を提供する事を目的としている。

即ち、本発明は入力信号をその振幅の絶対値に 応じた波形に変換した後、例えばパルス幅変調し させ、得られた増幅信号を前記入力信号の極性に 応じてスイッチングする事によつて入力信号を増 幅した信号を得るものである。

以下図面を参照して本発明の一実施例を詳細に 説明する。

第3図において、1は商用電源ACを整流及び 平滑して直流電圧を得る直流電源、2は低周波入 力信号Siが入力される入力端子、3は前記入力 端子に与えられた入力信号Siのレベルを調整す るためのレベル調整器、4は例えば差動増幅器か 20 化する同図 c の様な高周波の方形波パルス信号 らなり、非反転入力端に前記レベル調整器3から の信号を受けこれを適宜増幅する入力増幅器、5 は波形変換機能を有し前記入力増幅器4の出力信 号をその振幅の絶対値に応じた波形に変換する例 えば全波整流回路を用いて構成した波形変換回路、25 圧トランス 8 2 の 2 次側に同図 d に示す様なバル 6は前記波形変換回路5の出力信号を用いてバル ス幅変調して前記信号に応じてパルス幅が変化し 且つ正負交互の高周波の方形波パルス信号を得る V-PW変調器、7は前記V-PW変調器の出力 である正負交互のバルス信号が供給される絶縁さ 30 出力される。一方前記入力信号Siは入力増幅器 れたパルストランス、8は前記パルストランス7 を介して得られた信号に応じて前記直流電源1の 直流電圧をスイツチングするパルス増幅部81と 前記パルス増幅部81の出力を1次側に受けて、 応じたパルス幅の正負交互のパルスを得るための 絶縁された昇降圧トランス82とからなるプツシ ユブル出力のバルス増幅器、9は前記バルス増幅 器 8 の出力を全波整流して零電圧に対して対称な 正及び負極性の全波整流波形をそれぞれ正及び負 40 ルタ12によつて平滑する事により入力信号Si 側出力端**9a,9**bから出力するセンタタツプブ リッジ整流器、10は前記入力増幅器4の出力信 号の極性を判別してとれに応じた正負の電圧信号 を出力する例えば零電圧比較器等からなる極性判

別回路、11は前記センタタツプブリツジ整流器 9の正及び負側出力端9a,9bからの出力を受 け且つ前記極性判別回路10の信号に応じてそれ ぞれ正負出力を切換えて出力する例えばトランジ 12は前記出力スイッチング回路11の出力を平 滑する例えばコイルL及びコンデンサCからなる ローパスフイルタ、13は前記ローパスフイルタ 12の出力を前記入力増幅器4の反転入力端にフ 得られたパルス信号に応じてパルス増幅器を動作 10 イードバックするフイードバック抵抗、14は前 記ローパスフィルタ12の出力によつて駆動され る負荷としてのスピーカである。

との様な構成において、入力端子2に入力され た例えば第4図aに示す様な低周波入力信号Si 15 はレベル調整器3を介して入力増幅器4に与えら れ、適宜増幅された後、波形変換回路5によつて 全波整流され振幅の絶対値に応じて同図 b に示す 様な信号Saに変換される。この信号SaはVー PW変調器 6 によつて電圧に応じてパルス幅の変 Sbに変換され、さらに正負交互のパルスとして 出力されパルストランス了を介してパルス増幅器 8に与えられパルス増幅部81が駆動されて、直 流電源1の電圧が交互にスイッチングされ、昇降 ス信号Scが出力される。このパルス信号Scは センタタップブリッジ整流器9に与えられ全波整 流されて正及び負側出力端ga及びgbからそれ ぞれ同図e及びfに示す様な信号Sd及びSeが 4を介して極性判別回路10にも与えられ、入力 信号Siの極性に応じ、同図gに示す様に信号 Siの極性が正となる部分では所定の正電圧信号、 信号Siの極性が負となる部分では所定の負電圧 2次側に前記V-PW変調器6の出力バルス幅に 35 信号となる立上りの鋭い電圧信号Sfを出力する。 出力スイッチング回路11は、前記信号Sfに応 じて前記信号Sd 或いはSeを切換えて、同図h に示す様な入力信号Siの極性に応じたパルス信 号Sgを出力する。この信号Sgをローパスフィ が増幅された形のアナログ波形が得られこれがス ピーカ14に与えられる。尚、フィードバック抵 抗13は出力を入力増幅器4の反転入力側に帰還 し、電源系統をも含む帰還を行なつて、電源系統

の出力インピーダンスを下げる様にしている。ま た、パルストランス7及びパルス増幅器8の昇降 圧トランス82は、パルス増幅器8のパルス増幅 部81及び直流電源1部を信号系統を絶縁して、 止する機能をも有している。

との様に入力信号波形の絶対値に応じた高周波 のパルスを作り、このパルスにより交流電源を直 接整流した直流電圧をスイツチングして、トラン ス82の2次側に伝送するとともに、前記入力信 10 は、移相遅れが生じるおそれがあるので、ある程 号波形の極性を判別して、前記2次側の電圧を同 期整流する事により、高効率の増幅が行なえ、簡 単な構成で大出力の増幅器とする事ができる。ま た、前記パルス増幅器8の昇降圧トランス82と しては、低周波信号は与えられず高周波信号を伝 15 のバルス変調器を用いても良い。 達すれば良いので、高周波用のトランスで済み、 大出力用の増幅器とした場合にも小型、軽重量の トランスを用いる事ができる。すなわち、例えば 第4図cのような同極性のパルスを連続してトラ ンスに供給すると鉄心は同方向に磁化されるため 20 を動作させ、得られた増幅信号を前記入力信号の 飽和磁束値を大きく選定したトランスつまり大型 のトランスが必要となるが、第4図dのよう正負 交互のパルスをトランスに印加した場合は鉄心に 生ずる磁束値が小さくなるのでトランスを非常に 小型のものとすることができる。またフィードバ 25 事ができる。 ツク抵抗13の負帰還により、電源系統のインピ ーダンスを下げる様にしているので、連続定格出 力を高くする事ができ瞬時出力との差が小さくな り、また、特にステレォ再生用増幅器として用い た場合のチャンネル間クロストークの発生も低減 30 一実施例の構成を示す回路構成図、第 4図 a ~ h できる。更に上記構成によればV-PW変調器6 の出力バルス信号の繰り返し周波数によつて分解 能が決定されるので、これを充分な高周波とすれ ば、入力信号波形に対する出力信号の再現性を高 くする事ができ、歪みの発生を少なくする事がで 35 判別回路、11…出力スイッチング回路、12… きる。

尚、本発明は上記し且つ図面に示す実施例にの み限定されず、その要旨を変更しない範囲内で種 種変形して実施できる。例えば、上記実施例にお いては出力スイッチング回路11の出力側にロー この部分による悪影響の信号中に混入する事を防 5 パスフイルタ12を設ける構成としたが、2個の ローパスフィルタを出力スイツチング回路11の 入力側に即ちセンタタッププリッジ整流器 2 の正 負出力端 9 a , 9 b にそれぞれ接続する様にして も良い。但し、これは広帯域増幅器とする場合に 度より狭帯域の場合に適用する事が好ましい。ま た上記実施例においては V-PW変調器を用いた 構成としたが、入力信号の振幅に応じて時間成分 の変化するパルス変調器であれば、他の変調方式

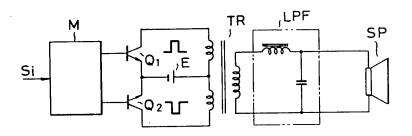
> 以上述べた様に、本発明によれば、入力信号を その振幅の絶対値に応じた波形に変換した後、信 号の振幅に応じて時間成分の変化するパルス変調 を施とし、このバルス信号に応じてバルス増幅器 極性に応じてスイツチングする事によつて入力信 号を増幅した信号を得る様にして直流信号から数 10 К Н z に及ぶ広い周波数の信号を高効率で増 幅でき、しかも小型、軽重量の増幅器を提供する

#### 図面の簡単な説明

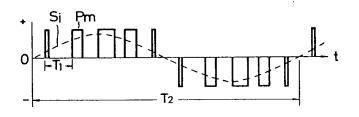
第1図は直接整流方式のパルス増幅器を用いた 増幅器の一例の構成を示す回路図、第2図は同例 を説明するための信号波形図、第3図は本発明の は同実施例における各部信号波形を示す信号波形 図である。

1…直流電源、5…波形変換回路、6…電圧— バルス幅変調器、8…パルス増幅器、10…<u>極</u>性 ローパスフィルタ。

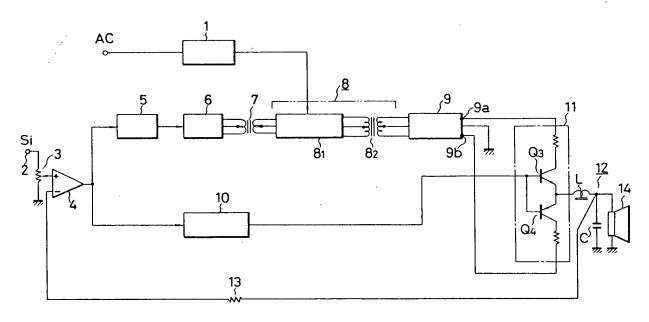
第1図



第2図



第3図



第4図

